

教育に関する事務の管理及び執行の 状況の点検及び評価の結果報告書

(令和2年度事業実績)



オンラインによる英会話授業のひとつコマ(平生中学校)

令和3年12月

平生町教育委員会

目 次

はじめに	1
主要施策の成果（学校教育）	4
学校給食施設再編計画策定	7
ICT環境整備・ICT支援設置 （GIGA スクール構想関連事業）	9
オンライン英会話・英語検定受検料助成	11
部活動指導員配置	13
主要施策の成果（社会教育）	15
家庭教育支援事業	18
平生町ミニ文化展開催	20
ゆめはな開花プロジェクト推進事業	22
第三次平生町子ども読書活動推進計画策定、図書館 パワーアップ事業	24
スポーツ推進計画（改定版）策定事業	26

【はじめに】

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の規定により、全ての教育委員会は、効果的な教育行政を推進するために毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、住民への説明責任を果たすことが求められており、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たして行くという趣旨に則り行うものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象及び期間

点検・評価の対象事業は、「令和2年度平生町の教育」基本方針の努力点及び「令和2年度各課の基本的な考え方」の重点事項、その他の主要な事業から選定しました。

点検・評価の対象期間は令和2年4月から令和3年3月までとしています。

3 点検・評価の方法

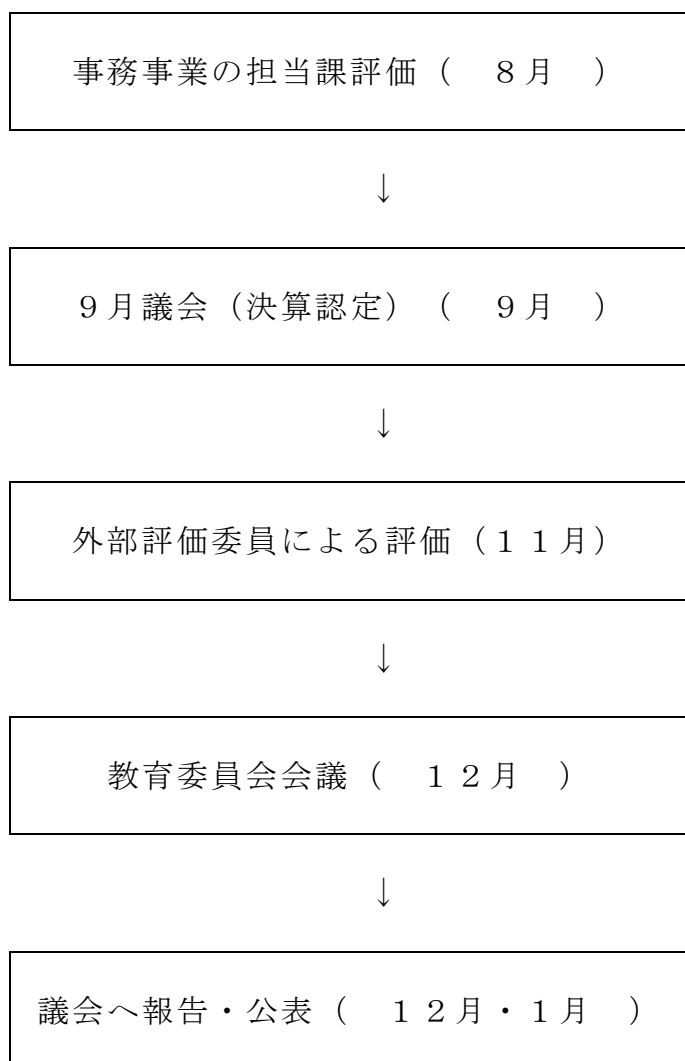
今年度も、昨年度と同様に教育委員会による自己評価と併せ、教育行政評価委員会による外部評価を実施しました。

法第26条第2項の規定による教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、教育委員会事務局が実施した自己評価による点検・評価の結果について、「平生町教育行政評価委員会」を設置し、下記の3名の委員から所見等をいただきました。

(敬称略)

氏 名	所 属 等
清 時 学 (委員長)	学識経験者
中 田 政 明	学識経験者
福 山 圭 子	平生町小・中合同学校運営協議会長

4 実施フロー



5 まとめ

教育委員会の所管する事務の点検・評価については、教育委員会独自の自己評価（内部評価）に併せ、外部評価委員（教育行政評価委員）による対象事務事業の成果等の点検・評価を行いました。

令和2年度の学校教育の基本方針「未来を拓く たくましい『平生っ子』の育成」に基づき、ICT環境の整備として、小中学校において1人1台のタブレット端末を配備し「わかる授業」の実践や児童・生徒の「情報活用能力」の育成を図りました。さらにそのICT環境のもと、中学校ではオンライン英会話を実践し英語運用能力の育成に努め、生徒のアウトプット能力の向上につなげています。その他、子どもたちの自発的な学習意欲を支援するため、学び支援事業の実施、課題のある児童生徒や家庭の支援体制強化、特別支援教育の充実、家庭や地域との連携・協働を進めるコミュニティ・スクール事業などソフト事業を推進しました。

社会教育の基本方針は「学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進」とし、家庭教育支援「ひらおカンガルー応援隊」の取組みをはじめ、青少年健全育成活動や子ども会活動の充実、生涯学習の推進として、町民憲章の具現化に向けた取組み、まちづくり出前講座の実施、生涯学習サークルの紹介、人権学習講座の開催、生涯スポーツの推進に努めるなど、ソフト・ハード両面において事務事業を推進しました。

今回、学校教育及び社会教育の9事業について、まず、事業の必要性、有効性、経済・効率性、目標達成度の視点でもって、内部評価を行いました。

各事業は目標どおり、あるいはほぼ目標どおりに進捗しているという評価をし、この内部評価をベースに教育行政評価委員による評価を受けました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業があるものの、おおむね各分野で効果的に事業展開ができているという評価をいただきました。また一方で、具体的な取組みやスケジュールを明確にすることや町民へのアピールの必要性などのご提言をいただきました。新型コロナウイルス感染症の影響は今後も続くと思われそうですが、各事業において工夫をこらしながら取組みを進めていきたいと思えます。

今回いただいたご提言やご指摘を生かし、「平生町教育振興基本計画（令和3年度～令和7年度）による施策や事業を実践し、効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

令和3年12月
平生町教育委員会

学校教育

【基本方針】未来を開く たくましい「平生っ子」の育成

教育振興基本計画策定

平生町教育大綱に定められた基本理念を具現化するため、本町の教育、文化の振興に関する施策を総合的に体系づける**教育振興基本計画**を策定した。策定にあたっては、学校長・P T A会長等関係者による計画策定懇話会や庁内委員会で協議を重ねた。

学力の向上と確かな「生きる力」の育成

令和の時代のスタンダードな学校像として、全国一律のI C T環境の整備を目的として始められた**「GIGAスクール構想」**に基づき、児童生徒への**1 人1 台端末及び高速大容量の通信ネットワーク整備**に取り組んだ。1 人1 台端末環境の実現は当初令和5年度の完了を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業時の在宅オンライン授業等に備えるために前倒しされたため、本町においては2年度をもって、町内小中学校の1 人1 台端末環境が整った。

オンラインによる英会話授業は、自分の英語が伝わった喜びを感じることで、伝わらなかった時の振り返りによって、**英語によるコミュニケーション能力の向上**につながった。

学び支援事業として、**実用英語技能検定の検定料の1/2 を助成**することで子どもたちの自発的な学習意欲を喚起し、学力の向上を図った。

英語指導助手 (ALT) 2 人体制で、中学校及び小学校の英語教育の充実を図った。

スクールソーシャルワーカー (SSW) を配置することで、課題のある家庭への迅速かつ適切な支援に資する専門相談を行い、各学校の実情に応じた支援体制の充実を図った。また、S S Wによる「**共育相談会**」を開催し、**教育相談及び就学相談**を行った。

安全・安心な教育環境の整備

老朽化が激しい町内3 校の給食施設の今後のあり方を検討するため、専門業者による**詳細調査**や学校関係者で構成する**「給食施設あり方検討会」**を実施、選択肢を絞り込むことができた。

佐賀小学校において、特別教室棟屋根防水改修工事、給食調理室・理科室・音楽室・図工室の空調機設置工事等を実施した。

平生小学校において、第3 校舎屋根防水工事、給食調理室空調機設置工事等、平生中学校において、普通教室棟転落防止手摺設置工事、給水設備改修工事、給食調理室空調機設置工事等、平生幼稚園において、遊戯室の空調機設置工事等を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として、**小中学校及び幼稚園の手洗い場の蛇口をレバー式に交換**を行った。

多くの園児や児童が使用する遊具についても専門業者による点検を実施し、安全で安心な教育環境を整備した。

幼・小・中の連携

幼保小中連絡協議会において入学の際の子どもに関する情報交換、相互の授業参観の重要性を確認し合うことで、連携を強化した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、例年行っていた小学生と幼稚園児の給食試食会や小学生が幼稚園児を誘導しながら避難する合同避難訓練、全教職員の参加により学力向上や授業の改善について協議する合同研修会は中止となった。

学校支援（特別支援）体制の充実

小中学校に**学校支援員を配置**し、学習習慣の定着や個別指導の充実など、学力の向上を目指した指導を行い、**個に応じてきめ細かな配慮のある教育**を推進した。

また、特別な支援が必要な児童生徒に対しても支援員を充てることで生活や学習上の困難の克服の支援に努めている。

家庭・地域との連携

町内小中3 校の**コミュニティ・スクールの活発化**により、地域と連携した特色ある学校づくりが進んでいる。

3 校相互の情報提供、情報交換をはじめ教育委員会からの情報提供を行うため、小中合同の学校運営協議会を実施している。各校で連携をとることにより、学校と地域が一体となった取組みを進めていくことを確認した。

また、幼稚園においても**地域の支援ボランティア活動**が盛んで、地域ぐるみで子どもたちを育てていく体制づくりが進んでいる。

特別活動の推進

コロナ禍により中止となった事業もあるが、学校側の創意工夫によりかたちを変えながらも取組みが行われた。

平生中においては、従来のOBを講師に招いての講演会は新型コロナウイルス感染症対策により中止されたが、**地元企業である永大産業株式会社や三新化学工業株式会社の協力により実験等を交えた授業**を行い、地元の魅力への気づきを広げる機会となった。

令和2年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	安全・安心な教育環境を保障し、信頼される学校をつくれます。		
事業名	学校給食施設再編計画策定		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続	実施根拠	<input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	本町の小中学校における給食は、3校とも自校方式で実施しているが、いずれの施設も老朽化が進み、文科省の衛生管理基準や大量調理施設マニュアルに適合していないことから、早期に安全で安定した学校給食の提供が可能な運営方針や施設再編の方向性を決定する。		
事業の内容	○給食施設あり方検討会の実施 (各校校長・PTA会長・学校運営協議会長) 第1回 令和2年 7月28日 検討の経緯報告、施設の現状と課題について 第2回 令和2年10月26日 各校施設視察及び柳井市給食センター視察・試食 第3回 令和3年 1月18日 基本構想案について 令和3年 4月28日 各校保護者へ検討状況資料配布 令和3年 6月20日 住民説明会を開催し、検討状況等を報告 ○専門業者による詳細調査 復建調査設計株式会社に調査依頼 令和3年6月29日 報告書受領		
事業の対象	平生小学校、佐賀小学校、平生中学校		
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	36 千円
決算額に占める特定財源額	- 千円	- 千円	0 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input checked="" type="checkbox"/> あまりできていない
	B	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる

判定説明考察	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食施設の現状や課題、早期改修整備の必要性を各媒体で周知したことにより、町民ニーズは高まっていると判断した。 ・給食を摂食する児童生徒の保護者、各校校長など直接給食事業に関わるメンバーから意見等を聴取する機会をもったことは有効であった。また、数億円単位の事業費にもつながることから方向性を決めるに当たっては専門業者の手による詳細調査は不可欠であり、有効であったと判断した。 ・本事業にあたっては、本町財務規則等に規定された単価・入札手順に沿って執行したことから事務効率化、コスト削減については特に問題なしとした。 ・目標は本町の児童生徒に対し、早期に安全で安心な学校給食を提供することであるので、現時点では達成していない。
事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	B	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・食の安全安心に留意しつつ、総合的な判断に基づき、問題に対応されたい。 ・多様化する食生活に対応した内容の計画を策定されたい。 ・目標とする体制を構築するまでのスケジュールを明確にされたい。 ・衛生面や安全管理の徹底を最優先にして取り組まれたい。
------	----------	--------	--

令和2年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	ICT環境整備・ICT支援員設置(GIGAスクール構想関連事業)		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	一人一台端末と高速通信環境の整備をベースに「個別最適化され、創造性を育む教育」を実現させる。		
事業の内容	○IT機器の整備及び教材等備品の導入 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業 公立学校情報機器整備事業 モバイルルーター導入 タブレット端末導入 ○ICT支援員による機器の操作指導、教員のICT活用研修や授業作り・教材作成のサポート		
事業の対象	平生小学校、佐賀小学校、平生中学校		
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(決算額)	740 千円	7,110 千円	48,723 千円
決算額に占める特定財源額	— 千円	— 千円	28,701 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり B ほぼ目標どおり D 目標を大幅に下まわる

判定説明考察	<ul style="list-style-type: none"> ・平生っ子学びのイノベーション推進事業(3カ年事業)の後継事業として取り組んだ。 ・国が進めるGIGAスクール構想に沿って今後もICTを活用し、「わかる授業」の実践や、児童・生徒の「情報活用能力」の育成が必要なことから必要性はあると判断した。 ・国が推奨する標準装備は遅れることなく進んでおり、経済・効率性も特に問題はないと判断したが、今後も多額のランニングコストが生じるため、事業の精選、さらなるコスト削減に努める必要がある。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	A	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のランニングコストの必要性を町民に理解してもらう必要がある。 ・「書く」ことをおろそかにしないようお願いする。 ・ICT化の流れから遅れないよう取り組まれたい。 ・教員の負担軽減(仕事の効率化)につながる工夫をされたい。
------	----------	--------	--

令和2年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	オンライン英会話・英語検定受検料助成		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	自分の英語が伝わった喜びを感じるなどを通じ、英語に関心を抱かせ、コミュニケーション能力の向上を図る。また、英検の検定料の助成を行うことで、自発的な学習意欲を喚起する。		
事業の内容	<input type="checkbox"/> インターネット回線を通じての外国人講師と1対1による英会話 <input type="checkbox"/> 実用英語技能検定の検定料助成(1年間に1人1回分)		
事業の対象	平生中学校		
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(決算額)	97 千円	91 千円	1,375 千円
決算額に占める特定財源額	— 千円	— 千円	— 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

判定説明考察	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な英語運用能力の育成が重要になっていることを背景に、生徒がオンラインで直接、外国人講師とつながり英会話を行う授業は概ね好評で、生徒のアウトプット能力の向上にもつながり、有効であると判断した。 ・助成金対象の受検者は3学年合計で83人で、年複数回、受検する生徒もあり、延べ受検者は123人で、昨年度に比べ19人の増加となっている。 ・3級以上の合格者が昨年度の25.0%から40.0%と15.0ポイント上昇していることから、取組みの成果が出ていると思われる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	A	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・この取組みを広くPRされたい。 ・オンライン英会話は確実に生徒の力になっていると評価する。 ・世界がグローバル化する中で、日本の英語教育は遅れている分野と思われる。こうした取組みを積み重ねることによっていっそう進化するよう期待する。
------	----------	--------	---

令和2年度事業 評価シート

(課名) 学校教育課

学校教育の基本方針	未来を拓く たくましい「平生っ子」の育成		
努力点	幼・小・中の連携を重視し、確かな「生きる力」を育てます。		
事業名	部活動指導員配置		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠 <input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	中学校において、指導する部活動に係る専門的な知識・技能を有する指導員を配置することにより、部活動の質的な向上(正しい理解に基づく技術の向上、生徒の能力に応じた適切な練習法の導入、想定される事故・ケガの未然防止)や教員の働き方改革(部活動指導に係る時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間確保、経験のない競技などの指導による心理的負担の軽減)を推進する。		
事業の内容	○部活動指導員を配置するための報酬等の助成(配置人数 令和2年度7人)		
事業の対象	平生中学校		
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(決算額)	- 千円	608 千円	941 千円
決算額に占める特定財源額	- 千円	405 千円	627 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

判定説明考察	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の部活動指導を任せられることで、教職員が別の校務に従事することが可能となり、教職員の働き方改革の点からも学校側からの要望もあり、今後とも必要性は高いと判断した。 ・決められた事業費(報酬)を各指導員に振り分け、出務時間を決めるなどの工夫があり、コスト意識をもって事業を遂行していると判断した。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	A	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの教育は、様々な知識や技術を持った人材が教員をサポートすることが重要である。 ・引き続き、部活動改革についての国や県の動向も見ながら進めてほしい。 ・教員の負担軽減につなげられたい。
------	----------	--------	--

社会教育

【基本方針】

学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進

青少年健全育成活動の推進

青少年の犯罪防止と交通安全を目的に、育成センター車による見回りを行っている。

また、夜間防犯パトロールについては、防犯ボランティアと警察官共同で実施した。

町内あいさつ運動啓発看板の一部について破損の危険があるため、3か所の**「あいさつ運動啓発看板」の改修**を行い児童生徒等の安全を確保した。

例年11月に実施していた平生町青少年健全育成推進大会については、中止となったが少年の主張については、審査の上、入賞者に賞状及び記念品を授与した。優秀作品については、機関紙「こやらい」にて、作文を掲載した。

立志の集いについては、2019年度から延期となっていた立志の集いを令和2年6月に開催した。令和2年度については3月24日平生中学校で規模を縮小して開催した。

町子ども会活動については、夏休みに実施する「日帰り研修」に代わる事業として、**町内の菓子舗でつくられた「シャーベット」の差入れ**を行った。夏休みの短縮や活動が制限される中がんばる町内の子どもたちに、楽しい夏の思い出を提供することができた。

令和2年度の平生町成人式については実行委員形式で開催準備を行ったが、新成人が一堂に会しての開催は中止し、**式典の一部をオンデマンド配信で実施**した。対象者125人中83人の新成人から参加申込があった。協賛事業者からの祝い品については、町からの記念品とともに進呈し、町全体で新成人を祝うことができた。

生涯学習の推進

生涯学習の推進については、町民憲章の第3項**「思いやりと感謝の心を持ち温かいまちをつくります」の具現化**に向けて、取組みを展開した。町民憲章具現化運動では、コロナ禍にあってもポスター10点、標語246点の応募があった。優秀作品については、秋の文化行事の表彰式において期間中に表彰の予定であったが、中止となったため、花いっぱい運動の優秀団体とともに、表彰状を後日送付することとなった。

なお、文化展についても新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事が中

止となったが、**平生町ホームページや広報ひらおで各団体の作品を掲載した「平生町ミニ文化展」を実施**し、町民文化の振興を図った。また、生涯学習具現化運動の入賞作品については、町内各地域交流センターで順次展示し、啓発を行った。

生涯学習まちづくり出前講座については、各小学校や地域の団体からの申し込みがあり、15回開催し、484人が受講した。

地域協育ネットについては、令和2年度から**家庭教育支援「ひらおカンガルー応援隊」の取組みを各小学校で進めた**。家庭教育や子育ての相談のほか、登下校支援や給食支援などを実施し、保護者の方が安心して子育てができるようサポート活動を行った。

児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、佐賀小・平生小・平生中において校舎内の消毒ボランティアを募集したところ、延べ1,142人の参加があった。

人権教育の推進

人権教育と啓発を推進する事業として、**平生町人権学習講座**を8月3日、4日、5日に開催し延べ112人の受講があった。コロナ禍での開催であったため、人数制限を設けるなど十分に感染対策を行い開催し、人権意識の高揚を図った。

人権コラム「つながり めくもり」を広報ひらおへ隔月掲載し、3月号で113回を数えることとなった。

文化活動の推進

県の補助制度である**ゆめはな開花プロジェクト推進事業補助金を活用**し、文化財等案内看板の改修、神花山古墳環境整備を行い、町の魅力向上と郷土愛の醸成を図った。

2019年度からの繰越事業となっていた町指定文化財である「神護寺木造毘沙門天立像」については、補修が完了した。

令和2年度実施予定であった、第54回平生町音楽鑑賞会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

読書活動の推進

子どもたちの読書活動の基本方針を明らかにする「**平生町子ども読書活動推進計画**」については、これまで第一次、第二次と計画を策定し取組みを進めてきたが、令和2年度末をもって、計画期間が満了となるため、令和3年3月に「第三次平生町子ども読書活動推進計画」を策定した。

また、乳児期から読書に親しむ環境づくりの一環として、新たに「ブックスタート事業」を実施し、乳幼児の保護者に絵本を配布した。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、臨時休館により子ども向けや一般向けのさまざまな取組みが中止を余儀なくされた。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の図書館パワーアップ事業を活用し、書架を整備し滞在時間の短縮を図るとともに、約1,300冊の児童書及び一般書を購入し、蔵書の充実を図った。また、貸出冊数の上限の変更を行い、利用者の利便性の向上に努めた。

生涯スポーツの推進

平成26年3月に策定した「**平生町スポーツ推進計画**」の**見直し**を行った。改定版においても、本計画の基本理念「スポーツで人とまちをつなぐ 元気な平生」の実現を引き続き目指し、3つの基本方針「生涯スポーツの推進」「スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援」「スポーツによる地域の活性化」に基づき、スポーツ推進施策をコロナ禍の中、感染対策を講じ、縮小・工夫してできるものについては実施した。しかし、令和2年度については新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、ほとんどの行事を中止した。

社会教育施設の整備

図書館の快適な環境づくりを進めるため、児童閲覧室及び一般閲覧室のエアコン改修を行った。また、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し書架の更新を行うとともに、図書除菌機を購入しウイルスの感染拡大防止対策を充実させた。

体育施設においては、体育館の照明を水銀灯からLEDに改修し、利用者の利便性の向上を図った。また、子育てサークル等よりかねてから要望があった**堀川公園のトイレを多目的トイレに改修**して、小さな子ども連れから高齢の方まで、どの年代層にも安心して利用できるよう改善した。

令和2年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	青少年健全育成活動を推進します		
事業名	家庭教育支援事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	すべての保護者が安心して子育てができるように、令和2年度から家庭教育支援チーム「ひらおカンガルー応援隊」を立ち上げ、保護者の方の子育てのサポートを行う。		
事業の内容	○家庭教育アドバイザーを中心に6名のチーム員で事業を実施 ・町内の小学校区内で保護者に対する子育て相談、児童生徒の登下校支援・給食支援活動等を実施 ・相談や懸案事項等については、カンガルー会議を開催し、学校と情報共有し、児童の対応に役立てる。		
事業の対象	町民		
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	777 千円
決算額に占める特定財源額	-	-	501 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)	<input type="checkbox"/> 十分できている		
	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる

<p>判定説明考察</p>	<p>・国の補助事業である、学校・家庭・地域連携協力推進事業(地域協育ネット)を活用して、令和2年度から家庭教育支援「ひらおカンガルー応援隊」の取組を町内各小学校で進めた。家庭教育や子育て相談のほか、登下校支援や給食支援等を実施し、保護者の方が安心して子育てができるようサポート活動を行った。 ・就学時健診や、1日入学等でチームの活動の広報を行うとともに、月1回のカンガルー会議ではSSWを招いての研修を行う等、家庭教育支援に必要な知識と技能についてのスキルアップを図った。学校とも密接に情報共有を図り、協力して活動を行うことができています。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input type="checkbox"/>現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・共働き世代の増加で保護者の環境が変化している。 ・子どもたち一人ひとりの成長のために、孤立化を防ぐなど保護者への支援を更に進めてほしい。</p>
-------------	----------	---------------	---

令和2年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯学習を推進します		
事業名	平生町ミニ文化展及び文化活動		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続	実施根拠	<input type="checkbox"/> 法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
事業の目的	例年11月に開催している「秋の文化行事」が新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になったことに伴い、文化協会加入団体の作品等を平生町ホームページや広報ひらおに掲載する等、活動を広く紹介する。		
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○平生町ミニ文化展 <ul style="list-style-type: none"> ・平生町ホームページ、広報ひらお(令和2年11月～令和3年7月号までの9回)により各団体の作品を紹介 ○町内各幼小中学校や地域交流センター等で菊の展示 ○町民憲章具現化運動啓発ポスター・標語の展示 <ul style="list-style-type: none"> ・町内各小中学校・地域交流センターで展示 ○大野ミニ文化展の開催(10月24日～11月8日) <ul style="list-style-type: none"> ・菊の展示 ・小学生の作品展示 ・中学生の家庭科部・総合文化部の作品展示 ・大野地域交流センター利用団体による作品展示等 ○宇佐木地域交流センターで菊の展示・販売 		
事業の対象	町民		
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	43 千円
決算額に占める特定財源額	- 千円	- 千円	- 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)	<input type="checkbox"/> 十分できている		
	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる

判定説明考察	<p>・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、平生町総合文化展が中止となった。平生町文化協会では、町民文化振興のため、広報ひらお及び平生町ホームページにおいて文化協会会員の作品を紹介した。また、町内公共施設において、菊の展示をはじめ、生涯学習サークル等による成果の発表も行われた。</p> <p>・生涯学習表彰については、例年どおり表彰者の選考を行い表彰し、優秀作品については、町内各小中学校、地域交流センターにおいて掲示した。</p> <p>・秋の文化行事は実施できなかったが、関係者が知恵を出し、工夫することにより新たな視点での取り組みが行われたため、一定の成果を得る事ができた。併せて児童生徒や地域の方々が町民憲章等をより身近で親しみを感じ、明るく住みよいまちづくりへの思いを醸成する機会とすることもできた。</p>
事業の方向性	<p><input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</p> <p><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了</p>

外部評価	A	評価委員意見	<p>・高齢化が顕著に表れ、活動する人の数が少なくなっている。</p> <p>・コロナ禍の中で個性を活かしながら楽しむ人は増えている。</p> <p>・これからも、文化活動の啓蒙に努めてほしい。</p> <p>・コミュニティ協議会(地域行事等)の活性化は大きな課題となっている。</p>
------	---	--------	---

令和2年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	文化活動を推進します		
事業名	ゆめはな開花プロジェクト推進事業		
区分	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	文化財等の整備により交流人口の拡大を図るとともに、町を訪れる方に対し、町の魅力発信とおもてなしのため、また、町民が花を育て花に親しむため、ボランティアを活用した花いっぱい運動を実施する。		
事業の内容	○神花山古墳環境整備業務 440,000円 (花木剪定) ○文化財等案内看板改修業務 783,220円 (16箇所) ○花いっぱい運動 608,507円 (春・秋実施) <p style="text-align: center;">合計 1,831,727円</p>		
事業の対象			
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	1,832 千円
決算額に占める特定財源額	- 千円	- 千円	1,220 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少 <input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない <input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない <input type="checkbox"/> できていない	
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる B ほぼ目標どおり

<p>判定説明考察</p>	<p>・県の補助事業として新たに創設された「ゆめはな開花プロジェクト推進事業」を活用し、文化財と花木を活かしたまちづくり事業を実施した。 ・事業内容としては、神花山古墳周辺に植栽された桜等の剪定を実施し、自然環境の保全と眺望の改善を図ると共に、町内文化財や史跡の案内看板を更新し、町内の文化財等を内外に発信した。また、ボランティアを活用した平生町花いっぱい運動を実施し、町の活性化を図った。 ・以上の事業を実施した結果、郷土文化財の魅力向上と、郷土愛の醸成につながったことから、補助事業が終了する令和5年度まで、同事業を実施していきたい。</p>
<p>事業の方向性</p>	<p> <input type="checkbox"/>さらに重点化する <input checked="" type="checkbox"/>現状のまま継続する <input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する <input type="checkbox"/>単年度で終了 </p>

<p>外部評価</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>評価委員意見</p>	<p>・文化財が引き立つよう環境整備を常に考え実行してほしい。</p>
-------------	--------------------------------------	---------------	-------------------------------------

令和2年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進																							
努力点	読書活動の推進、社会教育施設の整備																							
事業名	第三次平生町子ども読書活動推進計画策定、図書館パワーアップ事業																							
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独																					
事業の目的	子どもたちが意欲的に本に親しみ、読書習慣を身につけることができるよう、「第三次平生町子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動をより一層推進する。 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のメニューにある「図書館パワーアップ事業」を活用し、図書館蔵書や書架等を整備し、読書環境の充実にに向けた取組を実施する。																							
事業の内容	○「第三次平生町子ども読書活動推進計画」を策定（計画期間：令和3年度から令和7年度） ○「図書館パワーアップ事業」 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書架の購入</td> <td>15 台</td> <td>5,131,500 円</td> </tr> <tr> <td>ブックトラック購入</td> <td>1 台</td> <td>107,800 円</td> </tr> <tr> <td>蔵書の購入</td> <td>1,325 冊</td> <td>2,165,553 円</td> </tr> <tr> <td>図書除菌機の購入</td> <td>1 台</td> <td>904,200 円</td> </tr> <tr> <td>空調設備改修</td> <td>2 台</td> <td>2,016,300 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>10,325,353 円</td> </tr> </tbody> </table> <div style="margin-left: 20px;"> 備品購入費 合計 8,309,053円 (事業費:8,310千円) </div> <div style="margin-left: 20px;"> 工事請負費 (事業費:2,017千円) (事業費合計:10,327千円) </div>			品目	数	金額	書架の購入	15 台	5,131,500 円	ブックトラック購入	1 台	107,800 円	蔵書の購入	1,325 冊	2,165,553 円	図書除菌機の購入	1 台	904,200 円	空調設備改修	2 台	2,016,300 円	合計		10,325,353 円
品目	数	金額																						
書架の購入	15 台	5,131,500 円																						
ブックトラック購入	1 台	107,800 円																						
蔵書の購入	1,325 冊	2,165,553 円																						
図書除菌機の購入	1 台	904,200 円																						
空調設備改修	2 台	2,016,300 円																						
合計		10,325,353 円																						
事業の対象	平生図書館																							
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																					
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	10,327 千円																					
決算額に占める特定財源額	- 千円	- 千円	10,327 千円																					
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少																					
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)																							
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない																					
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない																					
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)																							
<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない																						
内部評価	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる																					

<p>判定説明考察</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動をより一層推進するために、今後5年間の子ども読書活動に関する2つの基本方針「家庭、地域、学校等における子ども読書活動の推進」と「町立図書館を中核とする連携・協働による子どもの読書活動の推進」に基づいて、読書活動推進のための方策を示す第三次計画を策定することができた。 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の「図書館パワーアップ事業」を活用し、図書館利用時における新型コロナウイルスの感染拡大を防止につながる事業を進めた。 ・在宅で過ごす時間を少しでも有意義に過ごしてもらい外出抑制につなげるため、上記物品の整備により3密対策を実施し、新しい生活様式等への対応と、より快適で安全な読書環境の充実に向けた取組を行った。 ・利用者からは、「安心して書籍を借りることができた」や「書籍が探しやすくなった」との声を多く聞くことができた。 ・令和2年度繰越事業として、書架の購入を進める予定となっている。 						
<p>事業の方向性</p>	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; border: none;"><input type="checkbox"/>さらに重点化する</td> <td style="width: 33%; border: none;"><input type="checkbox"/>現状のまま継続する</td> <td style="width: 33%; border: none;"><input type="checkbox"/>見直しのうえ、継続する</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/>事業の縮小を検討する</td> <td style="border: none;"><input type="checkbox"/>休止、廃止を検討する</td> <td style="border: none;"><input checked="" type="checkbox"/>単年度で終了</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度で終了
<input type="checkbox"/> さらに重点化する	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する					
<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する	<input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度で終了					

<p>外部評価</p>	<p>A</p>	<p>評価委員意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で一人で楽しめる場所の提供として、図書館は有益である。 ・アピールをもっとしてもよいのではないか。 ・子どもたちの読書については、学年が進むと読書離れが進んでいくことを防ぐことが大切である。
-------------	----------	---------------	--

令和2年度事業 評価シート

(課名) 社会教育課

社会教育の基本方針	学校・家庭・地域がつながる生涯学習の推進と学習成果活用の促進		
努力点	生涯スポーツを推進します		
事業名	スポーツ推進計画(改定版)策定事業		
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 継続	実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 法令等 <input type="checkbox"/> 単独
事業の目的	町民がそれぞれの体力・技術・目的に応じて、日常生活の中でスポーツに親しみ、気軽にスポーツを楽しむことができるよう、引き続き3つの基本方針である「生涯スポーツの推進」、「スポーツ活動を支える人材の育成と活動支援」、「スポーツによる地域の活性化」に取り組む。		
事業の内容	○「平生町スポーツ推進計画」(改定版)を策定 (計画期間:令和3年度～令和7年度)		
事業の対象	町民		
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業費(決算額)	- 千円	- 千円	51 千円
決算額に占める特定財源額	- 千円	- 千円	- 千円
事業の評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要があるか)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与していない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
内部評価	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)		
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない
	A	S 目標を上回る C 目標をやや下回る	A 目標どおり D 目標を大幅に下まわる

判定説明考察	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年3月に「平生町スポーツ推進計画」を策定し、様々な施策に取り組んできた。 ・計画策定から6年経過したので、国や県の改定された計画や動向を参酌し、本町の課題や現状及び社会情勢の変化等を踏まえた内容に改定した。 ・「第五次平生町総合計画」及び「平生町教育振興基本計画」と整合性を図るため、当初の計画期間を2年延長し令和7年度までとした。 ・見直しを行ったことで、今後5年間の施策の方向性を示すことができ、効果的な計画の取組が可能になると考えられる。
事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえ、継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 単年度で終了

外部評価	A	評価委員意見	<ul style="list-style-type: none"> ・計画が活かされ行動につながることを望まれる。 ・より多くの町民がスポーツに参加できるよう取り組まれたい。
------	----------	--------	--